

CT コロノグラフィー

(大腸3D-CT 検査)

後日オプション

内視鏡を挿入せずに CT 撮影を行うことで精細な大腸の立体画像を抽出できます。

CT コロノグラフィーでは肛門より直腸チューブを挿入後、炭酸ガスを送気し大腸を拡張し検査をおこないます。腸管癒着等、内視鏡による強い痛みを伴う方でも、少ない痛みで検査できる可能性があります。

～メリット～

- ・腸管癒着等内視鏡の挿入が難しい方でも苦痛が少なく低侵襲
- ・前処置のための下剤の量が内視鏡に比べ半分程度で服用しやすい
- ・ヒダ裏の大腸内視鏡で死角に存在する病変も見ることができる

～デメリット～

- ・大腸粘膜の色調観察ができない
- ・組織生検やポリープ切除ができない
- ・5mm 未満の病変や扁平な病変の検出能が悪い
- ・妊娠の可能性のある方、妊娠中の方は検査できない

【大腸 CT 検査が禁忌な方】

- ・大腸ポリープがあり、切除を勧められている方
(切除していれば可能)
- ・ヨードアレルギーの方
過去に造影剤使用で、副作用のあった方
甲状腺疾患でヨード制限のある方
喘息などのアレルギー疾患のある方、腎臓病で治療中の方
- ・大腸疾患術後の方
- ・潰瘍性大腸炎の方
- ・リブレ装着中の方
- ・除細動器・ペースメーカー挿入中の方

検査までの流れ

～一般健診受診時～

- ・検査説明、検査食等の受け渡し

～検査日前日～

- ・自宅にて検査食・下剤を内服

～検査日当日～

- ・9:00 まで来院
- ・個室にて下剤服用
下剤服用後3時間あけてからの検査になります。
- ・帰宅 (14時30分頃)
※前後する場合があります。

